

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策I-5-2 人材の育成・定着
---------	---------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	雇用政策課長 得能昌信	電話番号	0852-22-5296
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	技能体験事業		
目的	(1) 対象	中学生	
	(2) 意図	技能やものづくりに対する関心を高める	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり体験教室 中学生にものづくりへの関心を高めてもらうため、ものづくり体験教室を開催する 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 中学生ものづくり体験教室の参加生徒数	目標値		1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	人
		取組目標値						
	式・定義 中学生ものづくり体験教室の参加生徒数	実績値	1,001.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	6,443	5,000
うち一般財源 (千円)	6,443	5,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

<ul style="list-style-type: none"> 中学生ものづくり体験教室 H27年度 16校 参加生徒数 1,001名 H26年度 18校 参加生徒数 972名
--

6. 成果があったこと (改善されたこと)

<ul style="list-style-type: none"> 実施校における事業に対する評価は高い
--

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施校の固定化 実施要望に応えられない中学校の発生
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 未実施校に「ものづくり体験教室」実施が伝わっていない 予算上の制約
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 限られた予算の中で、より多くの生徒に希望の技能に関する体験を行ってもらうことと、予算上の制約をどのようにバランスを取り実施していくか

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<ul style="list-style-type: none"> 体験教室開催のルール設定 (対象学年の限定、小規模校の合同開催、1校あたりの分野や体験人数の制限設定、学校単位ではなく地域毎に希望者を募って開催、材料費の自己負担 など)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価 (任意記載)

--